

2022年10月入学
2023年4月入学

大 学 院
生物システム応用科学府
(B A S E)
生物機能システム科学専攻
博士前期課程 (修士)
学生募集要項

東京農工大学

2022年10月入学 2023年4月入学

東京農工大学大学院

生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻

博士前期課程(修士)学生募集要項

本専攻は前期課程(修士)と後期課程(博士)からなり、この募集要項は前期課程(修士)についてのものである。本学府に関する概要、所属教員の研究内容等については別添案内「東京農工大学大学院生物システム応用科学府」を参照のこと。

1 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員	備考
生物機能システム科学	10月入学：若干名 4月入学：59名	募集人員には、外国人留学生若干名及び社会人特別選抜を含む。

2 出願資格

(1)「一般選抜(4月入学・10月入学)」 次の各号のいずれかに該当する者とする。

- ① 大学を卒業した者及び入学する月(10月又は4月)の前までに卒業見込みの者。
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月(10月又は4月)の前までに学位を授与される見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前までに修了見込みの者。
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前までに修了見込みの者。
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前までに修了見込みの者。
- ⑥ 専修学校の専門課程で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月(10月又は4月)の前までに修了見込みの者。
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)。
- ⑧ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- ⑨ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する月の1日現在22歳に達した者。
- ⑩ 入学する月(10月又は4月)の前までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。ただし、10月入学希望者にあつては、2022年9月卒業見込みの者、4月入学希望者にあつては、2023年3月卒業見込みの者を除く。

- 注) 1. 「出願資格⑨⑩」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行う。(7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照のこと)
2. 「出願資格①～⑦」に該当する者は、筆答試験免除を希望することができる。ただし、本学府博士前期課程への入学を第一志望とする者に限る。(4頁「選抜方法」を参照のこと)

(2)「外国人留学生特別選抜」(10月入学のみ)

次の1)、2)のすべてに該当し、①～⑩のいずれかに該当する者とする。

- 1) 外国籍を有する者（日本国永住許可を得ている者は除く。）
- 2) 出入国管理及び難民認定法において、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は受験の際に有する見込みのある者で、次の各号のいずれかに該当する者。
 - ① 大学を卒業した者及び入学する月（10月）の前までに卒業見込みの者。
 - ② 学校教育法（昭和22年法律第6号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び入学する月（10月）の前までに学位を授与される見込みの者。
 - ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（10月）の前までに修了見込みの者。
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学する月（10月）の前までに修了見込みの者。
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する月（10月）の前までに修了見込みの者。
 - ⑥ 専修学校の専門課程で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学する月（10月）の前までに修了見込みの者。
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者。
 - ⑧ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者。
 - ⑨ 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在22歳に達した者。
 - ⑩ 入学する月（10月）の前までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学府が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者。ただし、2022年9月卒業見込みの者を除く。

注)「出願資格⑨⑩」に該当する者及び「学校教育における課程が16年に満たない者」の認定については、出願資格認定の事前審査を行う。

（7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照のこと）

(3)「社会人特別選抜」(4月入学・10月入学)

次に該当する者とする。

一般選抜の出願資格（⑩を除く）に加え、出願する時点で各種研究機関、教育機関、企業等に1年以上勤務中の者又は最終学校卒業後1年以上職にあった者。但し、一般選抜の出願資格⑨に該当する者は出願資格認定の事前審査を行う。

注)「出願資格⑨」に該当する者については、出願資格認定の事前審査を行う。

（7頁「出願資格認定の事前審査について」を参照のこと）

3 出願期間

2022年6月20日(月)～7月28日(木)まで

窓口受付時間：9時30分～11時30分、13時30分～16時

※筆答試験免除を希望する者は、2022年6月2日(木)～6月3日(金)までの間に申し込むこと。

4 出願手続

出願にあたっては、出願書類を出願期間中に小金井地区学生支援室入学試験係に持参すること。

他大学卒業見込みの者、社会人等で出願書類を郵送する場合は、書留速達とし、出願期間中に小金井地区学生支援室入学試験係に到着したものを受理する。

(1) 出願書類

出 願 書 類		注 意 事 項
A	入 学 志 願 票 (所 定 用 紙)	1) 志望教育研究分野欄には、出願者が志望する教育研究分野を第二志望まで記入することができる。 2) 志望グループが2つにわたる場合、専門の口述試験は両志望グループで受験するものとする。また、指導予定教員欄には出願者が希望する指導教員名を記入すること。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙)	1) 写真票・受験票には、志願者本人と確認できる写真(脱帽上半身でタテ4cm×ヨコ3cm)を貼付すること。 2) 志望教育研究分野欄には、志願票に記入したものと同一の内容を記入すること。
C	卒業(見込)証明書又は学位授与(申請)証明書	1) 出願資格①、③に該当する者は、出身大学(学部)長が作成した卒業(見込)証明書とする。 2) 出願資格②に該当する者は、学位授与機構長が作成した学位授与(申請)証明書若しくは、出身学校長が作成した学位授与申請証明書。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
D	成 績 証 明 書	1) 最終卒業の学校(学部)長が作成し厳封されたもの。 2) 本学卒業見込みの者は、提出する必要はない。 3) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
E	志 望 理 由 書 (所 定 用 紙)	1) 社会人特別選抜に該当する者。 2) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
F	業 績 報 告 書	社会人特別選抜に該当する者のみ提出すること。随意様式とし、在職中の業績内容の概要を記載したもの(1,000字程度)とする。その他に、研究論文、技術報告書、特許・実用新案等がある場合、その業績を表す文書等の写しも併せて提出すること。
G	学 歴 等 調 書 (所 定 用 紙)	1) 外国人及び出願資格③に該当する者。 2) 出願資格認定の事前審査に合格した志願者は、既に事前審査で提出してあるので、提出する必要はない。
H	入 学 検 定 料	30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名(フリガナ)を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕 ※入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は納入不要。
I	受 付 用 シ ー ル 及 び 連 絡 受 信 先 シ ー ル (所 定 用 紙)	必要事項を記入すること。提出後、住所等の変更があった場合は速やかに小金井地区学生支援室入学試験係に連絡すること。
J	そ の 他	1) 外国人は、住民票の写し(国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限り)又はパスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。ただし、本学に在籍中の国費留学生は提出不要。 3) 社会人特別選抜に該当する者は、在職証明書又は退職期間証明書を提出すること。 4) 一般選抜に該当する者(筆答試験免除を希望する者は除く)は、外部の英語資格試験のスコアシートを提出すること。(4頁「選抜方法」を参照のこと)

(2) 出願書類提出先

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16
 東京農工大学 小金井地区学生支援室入学試験係
 東京農工大学小金井キャンパス管理棟(1階)
 電話 042(388)7014(直通)

5 選抜方法

身体に障害がある者で受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出る。

また、筆答試験免除を希望する者は、あらかじめ指導予定教員と必ず連絡をとること。

[1] 一般選抜

一般選抜は学力検査各科目を総合的に評価し、4段階評価により合否判定を行う。

ただし、筆答試験免除を希望する者に対しては、提出された成績証明書等により筆答試験免除の資格判定を以下のとおり行う。なお、書類審査に加えて面接を行う場合がある。面接は②資格判定実施期間に行い、対象者に個別に通知する。

(1) 筆答試験免除による選抜

① 出願受付期間 2022年6月2日(木)～6月3日(金)

② 資格判定実施期間 2022年6月7日(火)～6月9日(木)

③ 資格判定の結果は、2022年6月17日(金)に発送する。

資格判定の結果、筆答試験を免除されなかった者は、次の(2)により筆答試験及び口述試験を受験することができる。

④ 合格者は、2022年9月5日(月)に「筆答試験及び口述試験による選抜」の志願者と併せて発表する。

(2) 筆答試験及び口述試験による選抜

① 学力検査(筆答及び口述)科目

試験科目等

※1 外国語(英語) 100点満点	外部の英語資格試験(いずれか一つ)のスコアシート(成績証明書)の原本及びコピーを出願時に提出すること。 (1) 本学が指定する外部の英語資格試験は、TOEIC公開テスト、TOEIC-IPテスト(本学実施に限る)、TOEFL PBT、TOEFL iBT※2(TOEFL iBT Home Editionも含む)、TOEFL ITP(本学実施に限る)とする。 (2) 出願書類として提出するスコアシートは、TOEIC、TOEIC-IPテストの場合、Official Score Certificate(公認認定証)の原本とする。TOEFL PBT、TOEFL iBT、TOEFL ITPの場合、Test Taker Score Report(受験者用控えスコア票)の原本とする。 (3) スコアシート(成績証明書)原本は、当該試験願書提出期限から遡って2年以内に受験したものに限り。 (4) 持参による出願の場合、スコアシート原本は確認のうえ、その場で返却する。郵送による出願の場合、スコアシート原本は受験票と共に返送する。 (5) 一度提出したスコアシートの差替は認めない。
基 礎 200点満点	筆答試験 以下の16題の中から任意の4題を選択する。 1. 解析学、 2. 線形代数学、 3. フーリエ及びラプラス変換、 4. 確率及び統計学、 5. 力学、 6. 電磁気学、 7. 光学及び波動、 8. 情報基礎、 9. 物理化学、 10. 有機化学、 11. 無機化学、 12. 分析化学、 13. 分子生物学、 14. 細胞生物学、 15. 生理・生化学、 16. 生態学
専 門 100点満点	口述試験

◎TOEICのスコアを100点満点に換算する。

※1 本学府が定めるTOEIC以外(TOEFL PBT、TOEFL iBT、TOEFL ITP)の外部テストスコアのTOEICスコアへの換算については、**小金井地区学生支援室入学試験係にお尋ねください。**

※2 TOEFL iBTのスコア(2019年8月1日以降に発行されたもの)については、Test Dateスコアを評価の対象とします(MyBestスコアは評価の対象としません)。

② 学力検査の日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
8月22日(月)	10:00～11:40	基 礎	東京農工大学小金井キャンパス内(詳細については、出願時に案内を配布する。)
8月23日(火)	9:00～15:00(予定)	専 門	東京農工大学小金井キャンパス内またはオンラインで実施。(詳細については、出願時に案内を配布する。)

[2] 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜は、下記の日程で行い、口述試験と成績証明書を総合して合否判定を行う。
学力検査の日時及び場所

月 日	時 間	科 目	場 所
8月23日(火)	15:00~16:00(予定)	口 述 試 験	東京農工大学小金井キャンパス内またはオンラインで実施(詳細については、出願時に案内を配布する。)

[3] 社会人特別選抜

社会人特別選抜は、下表に従って、社会人での経験・研究等について、学力検査(口述・口頭発表)、成績証明書、業績内容等を総合して合否判定を行う。

月 日	時 間	科 目	場 所
8月23日(火)	15:30~17:00(予定)	口 述 ・ 口 頭 発 表	東京農工大学小金井キャンパス内またはオンラインで実施(詳細については、出願時に案内を配布する。)

6 合格者発表

2022年9月5日(月)午前10時に本学ホームページ(<https://www.tuat.ac.jp>)に掲載する。合格者には合格通知書等を郵送する。

7 入学手続

(1) 入学手続期日

- ① 2022年10月入学者
2022年9月16日(金)入学手続の詳細は別途通知する
- ② 2023年4月入学者
2023年3月15日(水)入学手続の詳細は別途通知する

(2) 入学に要する費用

- ① 入学金……282,000円
- ② 授業料……年額535,800円(前期分267,900円、後期分267,900円)
ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(3) 必要書類等

在職のまま入学を希望する者は所属長等の入学承諾書(所定用紙)を提出しなければならない。(支払った入学費用等は返却できませんので、ご注意ください。)
また、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。
なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。

(4) その他

身体に障害がある者で修学上特別な措置を希望する者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出ること。

8 注意事項

- (1) 出願に当たっては、志望する指導予定教員に連絡し、事前に確認を得ておくこと。
- (2) 学力検査には、必ず受験票を携帯すること。
- (3) 試験日には、筆記用具を持参すること。
- (4) 出願手続後における提出書類の内容変更は認めない。
- (5) 本要項及び大学から指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。
- (6) 入学試験に関する照会は、3頁に記載の出願書類提出先とする。
- (7) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布する。
- (8) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻さない。
- (9) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入に際し厳格な審査を行っている。
規制事項に該当する場合は、本学から経済産業省(経産省)への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合がある。また、経産省が国際平和・安全の維持の観点から申請を不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があるので、注意すること。
- (10) 入学後、本人の申込みに伴い、入学金・授業料免除及び奨学金団体の制度によっては、出願時の成績証明書及び入学試験の成績を使用することがある。出願時に取得した個人情報に関しては、東京農工大学のプライバシーポリシー(ホームページに掲載)に則り、適切に使用する。